

定期作況報告

(第 3 号 令和8年7月20日現在)
地方独立行政法人北海道立総合研究機構
農業研究本部 上川農業試験場

1. 気象概況

令和 8 年 6 月下旬から 7 月中旬までの平年との比較による気象は次のとおりである（表 1）。

- 6 月下旬：最高気温はやや低く、最低気温はやや低く、平均気温はやや低かった。降水量は少なく（平年比 36％）、日照時間は平年並み（平年比 102％）。
- 7 月上旬：最高気温は高く、最低気温は平年並み、平均気温は平年並みだった。降水量は平年並み（平年比 96％）、日照時間はやや多かった（平年比 119％）。
- 7 月中旬：最高気温は平年並み、最低気温は極めて高く、平均気温は高かった。降水量は極めて多く（平年比 320％）、日照時間は少なかった（平年比 51％）。

表 1. 気象表

月 旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)		
	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
6月 下旬	17.1	18.6	-1.5	23.5	24.1	-0.6	12.3	13.7	-1.4
7月 月上旬	20.9	20.5	0.4	27.8	26.2	1.6	15.7	15.8	-0.1
7月 中旬	23.4	21.8	1.6	28.3	27.9	0.4	20.5	17.1	3.4
平均値	20.5	20.3	0.2	26.5	26.1	0.5	16.2	15.5	0.6

月 旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
6月 下旬	16.0	44.5	-28.5	55.7	54.5	1.2
7月 月上旬	41.5	43.4	-1.9	71.6	60.1	11.5
7月 中旬	119.5	37.3	82.2	30.6	59.6	-29.0
平均値	59.0	41.7	17.3	52.6	58.1	-5.4

2. 作 況

1) 水稻 平年並

5月20日現在：平年並

事由： 播種は平年より1日遅い4月17日に行った。出芽の揃いは良好であった。

移植は平年より1日早い5月19日に行った。移植時の草丈は平年並からやや短く、第1葉鞘高は平年並であった。葉数および茎数は平年並であった。苗100本当たりの地上部乾物重は、平年並からやや重かった。苗の充実度を示す地上部乾物重/草丈は、概ね平年並であった。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

6月20日現在：やや良

事由： 5月下旬から6月中旬の気温はやや高く、日照時間はやや多かった。幼穂形成期は、平年より3日早かった。草丈および葉数は平年並で、茎数は平年より6～22%多かった。

これらのことから、目下の作況は「やや良」である。

7月20日現在：平年並

事由： 6月下旬から7月中旬の気温および日照時間は概ね平年並であった。止葉期は平年より2日、出穂期は3日早かった。草丈、茎数および葉数は平年並であった。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

表3. 7月20日の水稻の生育

品種名			ななつぼし			ゆめぴりか		
項 目 / 年 次			本年	平年	比較	本年	平年	比較
生育期節	播種期 (月.日)		4.17	4.16	1	4.17	4.16	1
	移植期 (月.日)		5.19	5.20	△ 1	5.19	5.20	△ 1
	幼穂形成期 (月.日)		6.18	6.21	△ 3	6.19	6.22	△ 3
	止葉期 (月.日)		7.06	7.08	△ 2	7.06	7.08	△ 2
	出穂期 (月.日)		7.14	7.17	△ 3	7.14	7.17	△ 3
	成熟期 (月.日)			8.31			8.31	
	穂揃日数 (日)		8	7	1	7	7	0
	登熟日数 (日)			45			45	
	生育日数 (日)			137			137	
移植時	草丈 (cm)		13.8	14.2	▲ 0.4	12.3	14.2	▲ 1.9
	葉数 (枚)		4.2	4.1	0.1	4.4	4.3	0.1
	茎数 (本/m ²)		146	145	1	149	156	▲ 7
	第1葉鞘高 (cm)		2.6	2.5	0.1	2.3	2.4	▲ 0.1
	地上部乾物重 (g/100本)		4.96	4.49	0.47	4.38	4.60	▲ 0.22
	地上部乾物重/草丈		0.36	0.32	0.04	0.36	0.32	0.04
本田生育	葉数 (枚)	6月20日	8.3	8.2	0.1	8.6	8.5	0.1
		7月20日	9.9	10.2	▲ 0.3	10.2	10.5	▲ 0.3
		止葉葉数	9.9	10.2	▲ 0.3	10.2	10.5	▲ 0.3
	茎数 (本/m ²)	6月20日	683	558	125	658	623	35
		7月20日	736	724	12	782	815	▲ 33
	草丈 (cm)	6月20日	43.9	42.6	1.3	41.0	39.5	1.5
		7月20日	92.7	88.7	4.0	89.6	87.1	2.5
成熟期	稈長 (cm)			71.1			67.2	
	穂長 (cm)			17.1			17.1	
	穂数 (本/m ²)			673			764	
収量構成要素	一穂粒数 (粒)			48.9			42.1	
	m ² 当たり粒数 (×100)			328			321	
	稈実歩合 (%)			96.2			94.4	
	m ² 当たり稈実粒数 (×100)			316			303	
	同上比 (%)			100			100	
	登熟歩合 (%)			89.2			84.8	
	籾摺歩合 (%)			82.3			79.1	
	屑米歩合 (%)			1.8			4.3	
	精玄米千粒重 (g)			22.8			23.1	
収量	藁重 (kg/a)			66.9			63.7	
	精粒重 (kg/a)			82.9			78.8	
	精玄米重 (kg/a)			68.2			62.4	
	屑米重 (kg/a)			1.3			2.8	
	収量平年比 (%)			100			100	
	検査等級 (等)			1下	-		2上	-

注1) 平年値は前7か年中、令和元年（最凶年）、令和6年（最豊年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

3) 育苗耕種概要 育苗様式：成苗ポット苗

施肥：くみあい軽量培土床土用を約1.08 (kg/箱) 充填、
成分量 N 0.5、P₂O₅ 0.7、K₂O 0.5、MgO 0.1 (g/箱)、
置床 N 25.0、P₂O₅ 0.0、K₂O 2.5 (g/m²)

4) 本田耕種概要 栽植密度：25.3株/m² (33.0cm×12.0cm)、3本植

施肥量：N 8.0、P₂O₅ 9.7、K₂O 6.9 (kg/10a)、堆肥 0 (kg/10a)

5) 精玄米千粒重および精玄米重：網目1.90mm以上、水分15%換算。

2) 秋まき小麦 (R7年播種) やや良

10月20日現在：やや不良

事由： 播種は平年より2日遅い9月18日に行った。出芽期は平年より1日遅かった。出芽期以降の気象は10月中旬の気温が低い傾向であったことから、葉数、草丈は平年並みであったが、茎数は平年を下回った。

これらのことから、目下の作況は「やや不良」である。

5月20日現在：平年並

事由： 平年と比較して、根雪始は5日、根雪終は7日早く、積雪期間は2日短い134日であった。雪腐病発病度はやや低く、越冬茎歩合はやや高かった。根雪終わりが早く、4月上、中旬は気温も高めに経過したが、4月中旬以降は平年並みに経過し、5月上旬には降雪も観測されるなど気温のかなり低い時期もあったことから、草丈、茎数は平年並みだった。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

6月20日現在：平年並

事由： 気温は平年並みから高い傾向で推移したことから生育が順調に進んだが、前報期間の低温の影響もあり、出穂期は平年並だった。草丈は平年よりやや低く、茎数は平年並だった。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

7月20日現在：やや良

事由： 成熟期は平年並。成熟期の稈長及び穂長は平年並で、穂数は出穂期以降平均気温が6月下旬を除きやや高い傾向で経過したことや、日照時間が平年並みからやや多かったことなどから有効茎歩合が高くなり、平年を上回った。これらのことから、目下の作況は「やや良」である。

表 4. 7月20日の秋まき小麦の生育

品 種 名		きたほなみ		
項 目 / 年 次		本 年	平 年	比 較
播種期 (月.日)		9.18	9.16	2
出芽期 (月.日)		9.26	9.25	1
出穂期 (月.日)		6.02	6.02	0
成熟期 (月.日)		7.13	7.13	0
越冬茎歩合 (%)		147.8	116.8	31.0
雪腐病発病度		3.8	6.4	▲ 2.6
葉数(枚)	令 7年10月20日	4.5	4.5	0.0
草丈 (cm)	令 7年10月20日	19.3	19.0	0.3
	令 8年 5月20日	50.0	52.0	▲ 2.0
	令 8年 6月20日	84.5	91.5	▲ 7.0
茎数 (本/m ²)	令 8年10月20日	620	765	▲ 145
	令 8年 5月20日	1166	1201	▲ 35
	令 8年 6月20日	702	681	21
成熟期	稈長 (cm)	84	84	▲ 0
	穂長 (cm)	8.2	8.3	▲ 0.1
	穂数 (本/m ²)	723	598	125
子実重 (kg/10a)			584	
同上平年比 (%)			100	
容積重 (g/L)			833	
千粒重 (g)			38.8	
蛋白質含有率 (%)			8.9	
検査等級 (等)			1	—

注1) 平年値は前7か年中、収穫年における令和5年（最豊年）、令和2年（最凶年）を除く5か年の平均値。

2) ▲は平年より“減”を示す。

3) 春まき小麦 平年並

5月20日現在：やや不良

事由： 播種は平年より2日早い4月17日に行った。出芽期も平年より3日早かった。5月上旬以降の気温は平年並みだったが、降雪があるなど気温がかなり低い日もあり、また、5月中旬の降水量が少なかったことなどから、草丈はやや低く、茎数は平年より少なかった。これらのことから、目下の作況は「やや不良」である。

6月20日現在：やや不良

事由： 前報以降の生育は順調に進み、出穂期は平年より1日早い6月16日だった。草丈は平年並みであるが、5月の生育の遅れを反映して茎数は平年より少なかった。これらのことから、目下の作況は「やや不良」である。

7月20日現在：平年並

事由： 稈長は平年より長く、穂長は平年並であった。穂数は平年よりやや多かった。これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

表5. 7月20日の春まき小麦の生育

品 種 名		春よ恋		
項 目 / 年 次		本 年	平 年	比 較
播種期 (月.日)		4.17	4.19	△ 2
出芽期 (月.日)		4.30	5.03	△ 3
出穂期 (月.日)		6.16	6.17	△ 1
成熟期 (月.日)			7.25	
草丈 (cm)	5月20日	20.1	21.9	▲ 1.8
	6月20日	78.9	81.9	▲ 3.0
茎数 (本/㎡)	5月20日	515	594	▲ 79
	6月20日	511	709	▲ 198
成熟期	稈長 (cm)	102	91	11
	穂長 (cm)	7.8	8.2	▲ 0.4
	穂数 (本/㎡)	548	510	38
子実重 (kg/10a)			466	
同上平年比 (%)			100	
容積重 (g/L)			825	
千粒重 (g)			38.8	
蛋白質含有率 (%)			11.1	
検査等級 (等)			1	—

注1) 平年値は前7か年中、令和6年（最豊年）、令和3年（最凶年）を除く5か年の平均値。

4) 大豆 やや良

5月20日現在：

事由： 播種は平年並の5月18日に行った。

6月20日現在：平年並

事由： 出芽期は平年より3日早い5月28日であった。主茎長は平年並で、主茎節数は平年よりやや少なかった。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

7月20日現在：やや良

事由： 開花期は平年並。平均気温が6月下旬を除きやや高い傾向で経過したことから、主茎長は長く、主茎節数はやや少ないが、分枝数は多かった。

これらのことから、目下の作況は「やや良」である。

表6．7月20日の大豆の生育

品 種 名		ユキホマレ		
項 目	年 次	本年	平年	比較
播種期 (月.日)		5.18	5.18	0
出芽期 (月.日)		5.28	5.31	△ 3
開花期 (月.日)		7.08	7.08	0
成熟期 (月.日)			9.13	
主茎長 (cm)	6月20日	14.7	15.1	▲ 0.4
	7月20日	68.5	60.5	8.0
	8月20日		62.1	
	9月20日		61.4	
	成熟期		61.4	
主茎節数 (節)	6月20日	3.7	4.0	▲ 0.3
	7月20日	9.2	10.0	▲ 0.8
	8月20日		10.3	
	9月20日		10.2	
	成熟期		10.2	
分枝数 (本/株)	7月20日	7.2	6.4	0.8
	8月20日		6.3	
	9月20日		6.0	
	成熟期		6.0	
着莢数 (個/株)	8月20日		87	
	9月20日		88	
	成熟期		88	
子実重 (kg/10a)			424	
同上平年比 (%)			100	
百粒重 (g)			33.5	
屑粒率 (%)			1.5	
検査等級 (等)			2中	

注1) 平年値は前7か年中、令和6年（最豊年）、令和3年（最凶年）を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”を示す。

5) 小豆 平年並

6月20日現在：平年並

事由： 播種は、平年より1日早い5月22日に行った。出芽期は平年より4日早かったが、主茎長は平年よりやや短く、本葉数は平年を下回った。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

7月20日現在：平年並

事由： 7月上旬以降気温が高い傾向で推移したことから生育が順調に進み、主茎長は長く、本葉数は平年より多かったが、分枝数は少なかった。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

表6. 7月20日の小豆の生育

品 種 名		エリモ167		
項 目 / 年 次		本年	平年	比較
播種期 (月.日)		5.22	5.23	△ 1
出芽期 (月.日)		6.03	6.07	△ 4
開花期 (月.日)			7.22	
成熟期 (月.日)			9.5	
主茎長 (cm)	6月20日	5.2	5.6	▲ 0.4
	7月20日	32.2	28.7	3.5
	8月20日		70.8	
	成熟期		76	
本葉数 (枚)	6月20日	1.0	1.3	▲ 0.3
	7月20日	9.7	8.8	0.9
	8月20日		13.6	
主茎節数 (節)	成熟期		13.8	
分枝数 (本/株)	7月20日	5.3	6.2	▲ 0.9
	8月20日		6.6	
	成熟期		6.1	
着莢数 (個/株)	8月20日		62	
	成熟期		53	
子実重 (kg/10a)			319	
同上平年比 (%)			100	
百粒重 (g)			13.0	
屑粒率 (%)			3.2	
検査等級 (等)			3上	-

注1) 平年値は前7か年中、令和4年（最豊年）、令和3年（最凶年）を除く5か年の平均値。

6) ばれいしょ 平年並

5月20日現在：

事由： 植付けは平年より3日早い5月7日に行った。

6月20日現在：平年並

事由： 植付けは平年より3日早い5月7日に行った。植付け後、気温が高い傾向で推移したことから、生育は順調に進み、萌芽期は平年より2日早かった。6月上旬の後半で低温の期間があったことから茎長は平年よりやや短かった。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

7月20日現在：平年並

事由： 開花始は平年並。茎長は平年より短かった。7月中旬の最低気温が高かったことや日照時間が少なかったことなどから、でん粉価は平年をやや下回った。上いもの平均重はやや下回ったが、上いも数、上いも収量は平年を上回った。

これらのことから、目下の作況は「平年並」である。

表 7. 7月20日のばれいしょの生育

品 種 名		男爵薯		
項 目 / 年 次		本 年	平 年	比 較
植付期 (月.日)		5.07	5.10	△ 3
萌芽期 (月.日)		5.25	5.27	△ 2
開花始 (月.日)		6.21	6.21	0
枯凋期 (月.日)			8.24	
茎長 (cm)	6月20日	28.8	31.6	▲ 2.8
	7月20日	39.1	46.3	▲ 7.2
上いも数 (個/株)	7月20日	9.6	8.9	0.7
	8月20日		10.5	
上いもの 平均重 (g)	7月20日	66	68	▲ 2
	8月20日		93	
上いも収量 (kg/10a)	7月20日	2801	2650	151
	8月20日		4320	
でん粉価 (%)	7月20日	13.2	14.5	▲ 1.3
	8月20日		14.2	
収 穫 期	上いも数 (個/株)		10.7	
	上いもの平均重 (g)		99	
	上いも収量 (kg/10a)		4673	
	同上平年比 (%)		100	
	中以上いも収量 (kg/10a)		4165	
	同上平年比 (%)		100	
	規格内いも収量 (kg/10a)		3680	
	同上平年比 (%)		100	
	でん粉価 (%)		13.9	

注1) 平年値は前7か年中、令和4年（最豊年）、令和2年（最凶年）を除く5か年の平均値。